

令和4年度

事業報告書

自 令和4年 4月1日

至 令和5年 3月31日

神奈川県厚木市旭町 1-25-1 ミハラス 3階

公益財団法人健康予防医学財団

## 1. 概況

### 1-1 受診者数の推移

公益財団法人健康予防医学財団（以下当財団）は、平成 23 年 4 月に移行認定を受けた。当期は第 12 期に当たる。

令和 4 年度（令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）の年間受診者数は、前事業年度比 110.6%の 41,263 人だった。内訳をみると、人間ドックが前年比 114.1%の 8,274 人と受診者数が大きく増加した。また、生活習慣病健診、定期健診・その他も前年度に比べ増加した。

	令和 3 年度	令和 4 年度	前年比
受診者数	37,324	41,263	110.6%
人間ドック	7,252	8,274	114.1%
生活習慣病	13,166	14,435	109.6%
定期健診・その他	15,540	17,076	109.9%
婦人科検診	653	729	111.6%
市町村検診	713	749	105.1%

（単位：人）

前年度と同じく、引き続き、コロナ対策を行いながらの受診者受入であったが、受診者数は増加し、増加率はコロナ前の水準（約 10%）となった。受診者数の増加に対し、安全かつ正確に検査を実施することができ、広く県民に対して受診機会を提供することができた。

### 1-2 売上規模と経費

令和 4 年度の売上は、前年度比約 110%の約 9 億 2,000 万円となった。総合健診（人間ドック）の売上は前年度比約 122%の約 3 億 8,520 万円で、一般健診の売上は前年度比約 103%の約 5 億 3,100 万円だった。

経費については売上増加率に対して比例した増加ではあるが、次年度も引き続き、適正化を図っていく。

## 2. 健診業務関連部分

### 2-1 精度管理の状況

日本総合健診医学会の指導のもと、本年度も胸部 X 線や心電図、生化学検査、他の関連検査の精度が正常かをチェックした。実施日と結果は以下の通り。

実施機関	実施月	実施内容	結果
日本総合健診医学会	令和4年4月	生化学1精度調査	精度管理良好
		生化学2精度調査	精度管理良好
		HbA1C精度調査	精度管理良好
		血球計算精度調査	精度管理良好
		尿一般精度調査	精度管理良好
		便潜血精度調査	精度管理良好
	令和4年6月	生化学1精度調査	精度管理良好
		生化学2精度調査	精度管理良好
		血球計算精度調査	精度管理良好
		便潜血精度調査	精度管理良好
	令和4年9月	生化学1精度調査	精度管理良好
		生化学2精度調査	精度管理良好
		HbA1C精度調査	精度管理良好
		血球計算精度調査	精度管理良好
		尿一般精度調査	精度管理良好

## 2-2 職員の状況

令和4年3月31日現在の職員構成は以下の通り。

職種		人数	摘要
医師：内科	常勤	1	院長
：内視鏡専門医	常勤	1	
：内科	常勤	1	毎週木曜日
：内科	非常勤	1	毎週土曜日
：内科	非常勤	1	第1・第3・第5土曜日勤務
：内科	非常勤	1	第2・第4・第5土曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	毎週月曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	毎週火曜日
：産婦人科	非常勤	1	毎週水曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	毎週木曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	毎週金曜日勤務
：内視鏡専門医	非常勤	1	毎週月曜日水曜日金曜日勤務
：内視鏡専門医	非常勤	1	木曜日勤務
：内視鏡専門医	非常勤	1	金曜日勤務

: 内視鏡専門医	非常勤	1	第1・第3・第5土曜日勤務
: 内視鏡専門医	非常勤	2	第2・第4週土曜日勤務
: 放射線	非常勤	1	毎週木曜日勤務
看護師	常勤	12	
看護師	非常勤	11	指定日に勤務
診療放射線技師	常勤	4	
診療放射線技師	非常勤	3	指定日に勤務
臨床検査技師	常勤	9	
臨床検査技師	非常勤	8	指定日に勤務
管理栄養士	常勤	1	
管理栄養士	常勤	1	指定日に勤務
看護助手	常勤	4	
看護助手	非常勤	4	指定日に勤務
事務職員	常勤	25	
事務職員	非常勤	4	指定日に勤務
事務局員	常勤	2	

#### 役員（理事、監事）の状況

役職	氏名	現職
理事長	横須賀 浩二	ヘルスケアクリニック厚木 理事長
副理事長	斐 英洙	ヘルスケアクリニック厚木 統括院長
専務理事	武本 吉功	株式会社ベルコーポレーション 代表取締役
常務理事	横田 春樹	ヘルスケアクリニック厚木 医療部長
理事	成澤 勉	ヘルスケアクリニック厚木 事務長
理事	神戸 義人	ヘルスケアクリニック厚木 院長
理事	川原 輝久	

監事	西ノ内 彰	税理士法人 TM 総合事務所
----	-------	----------------

#### 2-3 総合判定の割合

令和4年度の健診結果の総合判定の割合は、A判定が2.79%、B判定が3.38%、C判定が29.95%となった。D～F判定が全体の65.87%と過半数を占めることから、受診者の健康状況の改善をいかにして進めていくのかが重要となっている。

C 判定及び D 判定が全体の 76.30%となることから、未病の段階にいる受診者がかなり多いことが伺えた。引き続き、神奈川県政策局 いのち・未来戦略本部室未病産業グループとの連携をさらに強化し、未病の研究を実施していくと共に、これらの層を中心に保健指導の実施やイベントの企画や情報の発信を行い、さらなる市民の健康増進に注力していく。

令和 4 年度総合判定	人数	割合
A	1, 121	2. 79%
B	1, 359	3. 38%
C	11, 224	27. 95%
D	19, 414	48. 35%
E	120	0. 30%
F	6, 913	17. 22%

### 3. 健康知識普及業務関連部分

#### 3-1 特定保健指導

令和 4 年度の特定保健指導における初回面談実施件数は、積極的支援 363 件（前年度 360 件）、動機付け支援 291 件（前年度 278 件）で合計 654 件（前年度 638 件）。昨年度対比で 102.5%と増加となった。前年度から特定保健指導を 2 名体制とし、当日の面談実施を受診者に促すだけでなく、電話での面談対応も行うことで、実施回数増加している。

特定保健指導に関しては全国健康保険協会の調査では医療費節減の効果があり、国立循環器病研究センターの研究ではメタボリックシンドロームのリスク軽減が科学的に証明されている。特定保健指導に参加することでの効果を踏まえ、受診勧奨対象者も含めて情報提供を強化し、支援実施者を引き続き、増加できるように改善していく。

特定保健指導内訳		令和 3 度	令和 4 年度
積極的支援	個別契約	320 件	339 件
	その他契約	40 件	24 件
動機付	個別契約	218 件	263 件
	その他契約	60 件	28 件

【参考 保健指導を受けた人の感想】

■積極的支援

① 50代 男性

(結果) 体重-7.2kg 腹囲-8.0cm

(コメント) 食べるものが数値に反映されるのが分かり、意識するようになった。  
途中から数値が改善されていくのが楽しくなり、7kg減に成功した。

② 60代 女性

(結果) 体重-5.5kg 腹囲-8.2cm

(コメント) 日々の時間に計画的に歩く事を目標にしておりましたが、ストレッチ等で  
体重減少、お腹周りもスッキリ、動きも少し軽やかになりました。

③ 60代 男性

(結果) 体重-2.1kg 腹囲-5.5cm

(コメント) ベルトの穴2個減った。中性脂肪が261→159に、空腹時血糖が108→91  
に改善した。

④ 40代 男性

(結果) 体重 - 3.2 kg 腹囲-3.2 cm

(コメント) 今まで体に良いと思って、摂っていたプロテインやココナッツオイルなどが、  
必要ないことが分かり、やめるきっかけとなったので、参加してよかった。

■動機付け支援

① 50代女性

(結果) 体重-2.0kg 腹囲-2.5cm

(コメント) もう一度運動を始めるきっかけになった。筋肉量が増えた血圧が140→110  
になった。

② 50代男性

(結果) 体重-3.3kg 腹囲-4.5cm

(コメント) これまで履いていたズボンの胴回りが緩くなった。減塩と、それに伴う食事  
内容を継続して意識し、週一で行っていた運動も引き続き行いたい。

③ 40代男性

(結果) 体重 - 8.4 kg 腹囲-7.9 cm

(コメント) 身体軽くなった、良く眠れるようになった。肝機能の数値がD判定からB  
判定に改善された

### 3-2 市民向け無料勉強会・セミナー

#### 1. JMS（ジャパンマンモグラフィー・サンデー）

毎年10月に開催される、働く女性を対象とした乳がん検診の受診勧奨イベントであるジャパン・マンモグラフィー・サンデーは新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、前年度は開催を見合わせたが、本年度は再開。次年度も乳がん検診の受診勧奨を行っていく。

### 3-3 啓発活動

#### 1. 疾患別リーフレット事業

健康診断で得られた情報を分析し、発症率の高い疾患5種を抽出。抽出した疾患の啓発リーフレットを作成。自治体、企業、医療機関に配布。

#### 2. 検査ガイドブック事業

一般的に健診施設で行われている検査項目に関するガイドブックを作成。検査の目的、基準値、異常値が出た際に考える症状や病名、今後のアドバイスなどを分かりやすく記載。検査の内容や意味を知っていただくことで、健康意識が変わり病気の早期発見、早期治療につなげていくことが目的。自治体、企業、医療機関に配布。

#### 3. AIによる健診結果解析システムの活用

AIによる診断結果解析システムは令和2年度から本格的に運用を開始。AIの診断結果は健診結果と合わせて、より細やかな改善指導や支援に活用でき、受診者の変容に大きく寄与している。

#### 4. 神奈川県みらい未病コホート研究への協力

生活習慣や健診検診データから疾患リスクを明らかにし、疾病予防に役立てることを目的とした「神奈川県みらい未病コホート研究」において、神奈川県と連携し、研究に必要なデータ収集に協力。

厚木市在住の20歳以上の方を対象にデータ収集に必要な下記の検査を実施。今後は年1回継続して実施し、研究協力だけでなく、疾病予防の啓発に繋げていく。

以上